

太白

TAIHAKU

『最幸の一日』のために

A.R.E 仙台アートグレイス・ウエディングフォレスト 担当支配人 山本 紘正

東日本大震災当日…2011年3月11日は金曜日。当館には式場見学のお客様、お打合せ、写真撮影のお客様、そして翌日3月12日にご結婚式を予定の新郎新婦様もいらっしゃいました。今までに体験したことのない強い揺れを感じ、様々な物が落ち、足の踏み場が無い中、まずはお客様の身の安全を最優先に、その意識をスタッフ皆が共有して、足場を確保しつつ、普段から防災訓練で使用している広場へご案内しました。

自家発電装置が稼動したため、余震にも注意しながらお互いの安否確認をしつつ、それでもまだ館内の清掃さえ整えば、翌日のご結婚式は行なえるのでは？ という考えもありました。

ただ現実には、私たちの想像をはるかに超える被害で、県内だけでなく全国にも大きな被害をもたらしておりました。

普段であれば週末になると結婚式のお手伝いをしているはずが、お客様の安否確認をさせて頂きながら、結婚式延期などのご連絡を取らせて頂くことが非常に心苦しく申し訳ない思いでございました。

ご結婚式のお手伝いを再開出来たのは、震災3ヵ月後の6月。

「こんな大変な時期に結婚式などできない」とのご意向をいただくことも多かったのですが、逆に「このような時期だからこそ、みんなに明るい話題で集まるきっかけを作りたい」と挙式された方も多くいらっしゃいました。

ご結婚式は【一生に一度】。言葉にすると数文字ですが、お客様のお気持ちを大切に、この重みをスタッフ一人一人が感じ、新郎新婦様はもちろんのこ

とゲスト皆様に笑顔になって頂くこと、そして、皆様の思い出の場所を守り抜いていこうとスタッフ一同で決意を新たに致しました。

御式を挙げてくださった新郎新婦様には、警察・消防関係に従事されている方々も非常に多く、なかには身を挺して県民・市民の方を守られた方もいらっしゃいます。

皆様からのお話をお伺いすることで、まだまだ私たちにも出来る事はある！と、スタッフ一同、ボランティア活動や普通救命講習会に参加するなど、何か起きた時に自ら考え行動出来るよう積極的に参加・受講しております。

結婚式には、年代問わず多くのお客様がご来館されます。

当館では、館内厨房にてすべての調理を行っておりますので、日頃の防災訓練では不意の火災も想定し、お客様の誘導経路・避難場所をスタッフ全員で共有しております。

また、急に体調を崩された方に対する応急手当などの初期対応を定期的に学び、ご安心して大切な一日をお過ごしいただける会場づくりに努めております。

災害はいつ起きるかわからない。だからこそ、スタッフ一同で防火防災意識を高め、お客様の特別な一日をお手伝いさせて頂き、より最高の一日をお約束するために、私たちは【最幸の一日】をスローガンに掲げ、全力でお手伝いをさせて頂いております。

今後も安心・安全な結婚式場づくりにスタッフ一丸となって取り組んで参ります。



救命講習会



結婚式場